

この人に聞く Spotlight

No.165

言葉の力・詩歌の魅力を伝える文学館に

高野 ムツオさん



高野さん（72歳・宮城県多賀城市）は、前館長の退任に伴い1月1日から日本現代詩歌文学館の館長に就任しています。大学を卒業後、定年まで中学校の国語科教員として勤める傍ら、俳句に親しんできました。これまでに句集も多数発刊され、宮城県芸術奨や蛇笏賞などの賞を受賞しています。

現在は、現代俳句協会副会長などを務めながら、河北新報などの俳壇選者として俳句を専門に活躍されています。また、同文学館で開催している俳句実作講座の講師も務めています。

高野さんが俳句に興味を持ったのは、小学4年生の時。

父と行ったお寺での句会で作った作品「夏の雨うるさくひびく夜の寺」が指導者の目に留まり「今日の実感が出ていてとてもいい」と褒められました。そこから少しずつ言葉の魅力に惹かれていった高野さん。今でも詠んだ俳句ごとに、当時の状況が生きてき生きているように思われるそうです。

東日本大震災の際には、自分の目で見たショッキングな出来事を俳句として表現。その句には季語はありませんでしたが、たくさんの人から共感を得、評価されました。それまでは、春夏秋冬を楽しむ詠うイメージが強かったという自作の句でしたが、震災時は「非日常なことが起こっても、言葉で表現すること、自分たちが前向きに生きる力を俳句から授けてもらった」と、言葉の力や奥深さを感じたと話します。

日本現代詩歌文学館は、日本で一つしかない詩歌専門の文学館。「現代という文字が付いた名前」とおり、今に生きている人たちに足を運んでもらい、詩歌の魅力を知ってもらうとともに、文芸に取り組むための中心となる施設にしていきたい」と抱負を語りました。

どんなクラス？

元気で勉強を頑張るクラス（伊緒奈）
先生の話をしっかり聞いて、約束を守るクラス（言寧）
勉強も運動もしっかりするクラス（翔太）
みんな仲良し（優月、桜）

担任 半揚先生からのメッセージ

いつも明るくみんなで協力して生活していますね。4月にはスーパー2年生として1年生のお手本となり、お世話も頑張ってください。期待しています！

2月のクラス 口内小学校 1年



2月のアーティスト

みんな

菊地 悠仁くん
江釣子幼稚園 6歳



幼稚園にフォーキー鬼がやってきたときの絵だよ。外でみんな一緒にこおり鬼で遊んだ。とても優しい鬼さんだったよ！



No.227

みんなの詩歌



夏休み引退したけど部活したい

堀切 悠太

親戚の訛り分らず盆の夜

阿部 彩凜

いつまでもからは案山子におびえない

後藤 天稀

江釣子中学校三年

おらはの愛どる



岡本 創史くん
平成30年9月10日生まれ
(口内町)

優しいお姉ちゃんたちに囲まれて、いつも笑顔の創ちゃん。焦らずゆったり大きくなあれ！



菊池 花愛ちゃん(左) 蘭ちゃん(右)
平成28年11月2日生まれ 平成30年12月31日生まれ
(和賀町藤根)

姉妹仲良くいっぱい遊んで、これからも元気に成長してね♡

「おらはの愛どる」に登場いただける市内にお住まいの就学前のお子さんを募集中！
名前・生年月日・お子さんへのメッセージ
(40字以内)・住所・電話番号・保護者名
を添えて、都市プロモーション課まで！

